

創業 50 年が終了して激動の NEXT50 年が始まります

年末の多忙さはいつもと変わらない今年ですが、なぜか新年を迎える僅かな希望の光も感じないのは私だけでしょうか？コロナ禍が終息したと思われているのに、介護現場では強かにコロナウイルスは活動し、更にインフルエンザが猛威を振るっている現状では、医療・介護で働く人達は過酷な年末年始を過ごさなければなりません。エッセンシャルワーカーゆえの我慢を求められています。その上、在宅介護に介護体制を誘導しておきながら、訪問介護保険点数の引き下げ政策は、日本財政の危機のシグナルと受け止め、対策の準備を急ぐべきです。

そして、能登半島では、元日の地震と9月の豪雨で二重の大被害と受け、いまだ復旧できない現状で罹災者の方々には年末年始どころでは無いはずですが。気候変動や世界各地での戦争拡大により、大被害を受けた子供たちや女性たちの犠牲に歯止めがかかりません。気候、戦争、そして増加する難民によって経済格差が更なる貧困が大きな問題になっています。そんな世相だから希望の光が見えないのか？それとも、私自身が終活期に入っている年齢だから希望が見いだせないのか？多分その両方だと思います。

今日の国内外の潮流は急速に混濁化し、破壊力を伴うエネルギーに転換される事を私は危惧しています。元気グループの創業 50 年が終了し、飛躍の NEXT50 年がすでに始まっています。世界がカオス時代に突入している今、社会的課題が満載の日本は社会課題を解決して、新たな希望をどのようにして見出すべきか？

そのテーマに、我々元気グループは果敢に挑戦しなければ、その存在価値は無くなります。その為には元気グループの組織はリベラルアーツを身に付けた人材で構成されなければならない。私が皆様に求めた「自己変革」とは社会教養を身に付ける他はありません。なぜなら、これからの時代は教養なき人材は組織を滅ぼすと私は考えているからです。2024 年の国内外の様々な世相は私達元気グループに迅速な「社会変革」の実践を求めています。地域社会を活性化して、元気で幸せな“共生の街”を創生することが NEXT50 年の使命です！2025 年国際政治、経済が更に混迷を深め世界が大きく変容し始める年になると思う。そして日本元気グループは新たな英知と情熱を身に付けた変容する日本元気グループのターニングポイントの年の始まりです。

空高く翔べ！

Take Off！

2024 年 12 月 吉日

元 気 グ ル ー プ

会 長 神 成 裕